

主題：天の王国の実際の中に生きる

メッセージ 6

義、平和、聖霊の中の喜びの生活

聖書：ローマ 14:17. マタイ 5:6, 9, 20. 6:33. 詩 89:14. コロサイ 3:15. 使徒 13:52

I. 神の王国は義です——ローマ 14:17：

- A. 義とは、正しく正常であることを意味します。神の王国の中に生きる者は、他の人に対して、事物に対して、彼ら自身に対して正しく正常であるべきです——マタイ 5:6. 6:33。
- B. キリストに対するわたしたちの経験は、神の義の土台に、特にイエスの血の中で彼が義であることに基礎があります——I ヨハネ 1:7, 9。
- C. 最も義なる人はキリストを生きる人です。わたしたちの内側に生きるキリストは、わたしたちをあらゆる面で正しくします——ピリピ 1:21 前半. ガラテヤ 2:20。
- D. 新約によれば、義には四つの主要な面があります：
 - 1. 義は、神の義なる厳格な要求にしたがって、人、事物、事柄に対して正しいのです——マタイ 5:20。
 - 2. 義は、命を与える霊としてわたしたちの中に生きるキリストの外側の表現です——II コリント 3:9, 18. I コリント 15:45 後半：
 - a. その霊は、神がわたしたちの内側で生き、行動し、活動する本質です。義は、神が神のかたちとして外側で現され、彼を表現することの本質です——エペソ 4:24. コロサイ 3:10。
 - b. わたしたちの中へと書き記されている神聖な本質には特別な表現があり、この表現は義です——II コリント 3:3, 9. マタイ 5:20。
 - c. 義は神のかたちの表現を表徴します——エペソ 4:24. コロサイ 3:10。
 - 3. 義は、神の王国の事柄です——マタイ 6:33：
 - a. 神の御座は、土台としての義をもって確立されます——詩 89:14. 97:2。
 - b. 義は神の行政のために神から出て来るので、神の支配と統治と関係があります——イザヤ 32:1。
 - c. 義はまず神のかたちにおいて生じ、そして神の王国を確立します——ローマ 8:4, 29. 14:17。
 - 4. 義は、わたしたちの存在において神に対して正しいという事柄です——I コリント 15:34. II コリント 5:21：
 - a. わたしたちの存在において神に対して正しいとは、内なる存在、すなわち、神の思いと意志の中にある内なる存在を透明にし、水晶のように明らかにすることです——啓 21:11, 18 後半, 21 後半. 22:1。
 - b. このように義であることは、キリストの中で神の義となることです——II コリント 5:21。

II. 神の王国は平和です——ローマ 14:17：

- A. わたしたちの御父は平和の神であり、平和な性質を伴う平和な生活を持っています

—— 15:33. 16:20. マタイ 5:9. ヘブル 12:14. ヤコブ 3:18. IIテサロニケ 3:16 前半。

B. キリストの中にある平和、キリストである平和、キリストによってつくられた平和、キリストによって福音として宣べ伝えられる平和は、からだの、またからだの中にある平和です——エペソ 2:14-15, 17. 6:23. ガラテヤ 6:16. コロサイ 1:20. 3:15 :

1. からだの中に生きてからだの一を守ることは、からだの平和の中に生きることです。キリストのからだの中で、からだのために、わたしたちは平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保たなければなりません——エペソ 4:3。

2. それがわたしたちに依存している限り、わたしたちはあらゆる人と平和に生活するべきです——ローマ 12:18. ヘブル 12:14。

C. わたしたちはからだの生活のために、すべての事でキリストの平安にわたしたちの心を裁定させる必要があります——コロサイ 3:15 :

1. キリストの裁定する平安は、キリストがわたしたちの内側で働いて、わたしたちに対して彼の支配を行使し、最終決定をすることです——イザヤ 9:6-7。

2. キリストの平安がわたしたちの心を裁定するために、それはあらゆることで支配者また決定者として座に着けられなければなりません——ヘブル 7:2。

3. からだの生活の中で、神の平安は、わたしたちの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛します——ピリピ 4:7, 9。

4. からだの生活の中で、わたしたちの心は肢体たちに対して平安の状態であるべきです。なぜなら、わたしたちはキリストの平安のために、一つからだの中で召されたからです——コロサイ 3:15。

III. 神の王国は聖霊の中の喜びです——ローマ 14:17 :

A. 神は、わたしたちが彼を享受し、彼の定められた御旨のために生きることを願っています——ネヘミヤ 8:10. エペソ 3:11。

B. 召会の中で王国の生活を生きることは、わたしたちが聖霊の中で神に対して喜ばしく生きることを要求します——Iペテロ 1:8. マタイ 5:11-12. 使徒 5:41. 13:52. ピリピ 2:17-18 :

1. 喜んでいないことは、わたしたちが敗北していること、何かわたしたちに対して間違っていること、わたしたちが神聖な制限を断ち切っていることを示します。その結果、わたしたちの霊は打ちひしがれ、わたしたちは喜ぶことができません——4:4. Iテサロニケ 5:16。

2. わたしたちは義と平和の生活をするなら、聖霊の中で神に対して喜ばしく生きます——ローマ 14:17。

C. 三一の神は喜びの神であり、使徒たちは聖徒たちの喜びのために、彼らと共に働く同労者です—— 15:13. ヨハネ 15:11. 17:13. 使徒 13:52. ガラテヤ 5:22. IIコリント 1:24. ピリピ 1:25. 2:17-18。

D. わたしたちは、主の言葉がわたしたちの心の中にあるという喜びを経験します——エレミヤ 15:16。

E. 神の御言の中に啓示されている甘い思想は、キリストの中で神がご自身を恵みとしてわたしたちに与え、わたしたちの享受となるということです——ヨハネ 1:14, 16-17. IIコリント 13:14 :

1. 聖書で神と人との関係に対する最初の言及において、神はご自身を人に食物として提示します。これは、神がわたしたちに彼を享受してもらいたいことを見せています——創 2:7, 9. 詩 16:11. エレミヤ 15:16。
2. 神の願いは、ご自身をわたしたちに与えてわたしたちの享受となることです——ネヘミヤ 8:10。
3. クリスマン生活に対する秘訣は、わたしたちがどれほど多く彼のために働くかではなく、どれほど多く彼を吸収し享受するかです——ヨハネ 15:4-5. コロサイ 2:6-7。
4. わたしたちはイエスをひたすら見つめ、わたしたちの前に置かれている喜びを見るなら、わたしたちの前に置かれているレースを、忍耐をもって走ることができます——ヘブル 12:1-2。
5. わたしたちは、「言葉では言い尽くせない、栄光に満ちた喜びをもって歓喜」することができます—— I ペテロ 1:8。